



マレーシアから訪問団が来校しました！

令和 8 年 6 月 18 日～21 日連携校であるマレーシアのスルタン・イスマイルの高校生 12 名と教員 3 名が来校しました。留学生たちは 4 日間横高生の自宅にホームステイし、学校では国際交流委員とともに文化祭の準備を進めてくれました。文化祭では、民族ダンスの披露やオリジナルブースを運営してくれました。マレーシアブースではヘナタトゥーというボディペイント、伝統的なゲームができて、両日とても盛り上がっていました。今回は、ホストファミリーとなった生徒と国際交流委員長に話を聞きました。

✿ 国際交流を経験して感じた事 ✿

今回、マレーシアの生徒をホームステイで受け入れたことで、普段の生活では得られない貴重な経験ができました。最初は自分も相手も緊張していて、英語でうまく会話できるか不安でした。しかし、身振りや簡単な英語で話し続けるうちに緊張がほぐれ、お互いに笑いながら話せるほど距離が縮まりました。また、日本とマレーシアでは食事や生活習慣、文化に違いがあることを知る一方で、国や文化が違っても同じ人間として心を通わせることができる実感し、とても感動しました。今回の経験を通して、英語は完璧でなくても積極的に伝えようとする姿勢が大切だと学びました。このような貴重な機会を準備し、実施してくださった先生方をはじめ、関係者の皆様に心から感謝しています。機会があればまたぜひホームステイをしたいです。少しでも興味がある人には、ぜひ挑戦してほしいと思います。この経験は、これからの自分にとって大きな財産になると感じました。 2年3組 柳澤 裕真



今回、マレーシアの生徒が横須賀高校に来てくれたことで、昨年マレーシアを訪れた際に友達になった生徒と再会することができ、とても嬉しかったです。久しぶりに会っても変わらず笑顔で話すことができ、交流が一度きりではなく続いていることを実感しました。

また、文化祭では多くの横須賀高校の生徒が積極的にマレーシアの生徒と関わり、文化や言葉の違いを気にせずコミュニケーションを取っている姿が印象に残りました。お互いに笑顔で会話を楽しんでいる様子を見て、国籍や言語の壁は思っていたよりも小さいものなのだと感じました。

さらに、マレーシアの生徒たちが私たちの文化祭を楽しんでくれている姿を見て、とても嬉しく思いました。今回の交流を通して、お互いの文化を知ることの楽しさや、人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。これからもこのような交流が続き、多くの人がお互いの文化を知る機会が増えてほしいと思います。

国際交流委員長 2年6組 福田 遥人

✿ 文化祭で SSH の魅力を発信しました ✿

令和 8 年 6 月 20 日、21 日横須賀高校にて文化祭が開催されました。

SSH 委員では、コンテストや学会に参加したポスターを展示したほか、これまでの SSH NEWS（バックナンバー）も用意し、日々の活動の成果を紹介しました。当日は多くの方にお越しいただき、大盛況となりました！

